

がんセンター だより

寄り添い、
共に歩む医療をめざして ——

宮古市 沿岸



目次

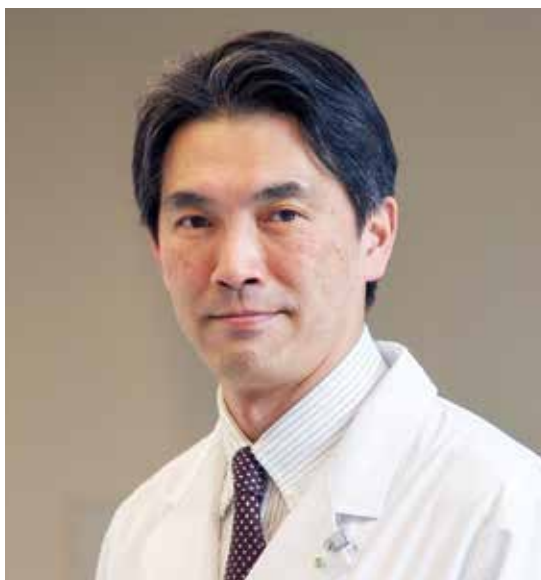
- がん相談支援センター長 あいさつ
- 令和6年度アピアランス支援モデル事業
- 緩和ケア研修会報告
- みちのく潮風トレイルウォーク
- がんセンターからのお知らせ
- がんサロンからのお知らせ



がん相談支援センター長 あいさつ

センター長 馬場 長

(産婦人科学講座教授)



がんセンターだよりをお読みいただいている皆さま、こんにちは。このたび、岩手医科大学附属病院がん相談支援センター長に着任いたしました、馬場 長(ばば つかさ)です。まずは、皆さまに心からのご挨拶を申し上げます。

私は、これまで産婦人科医として女性とその子供たちの健康に向き合い、特に婦人科がんに関する治療や研究に従事してまいりました。産婦人科は、女性のライフサイクル全体にわたる健康を支援する科であり、婦人科がんの早期発見や予防、治療後のフォローアップだけでなく、若年がん患者さんの妊孕能温存とがんサバイバーの生殖補助医療など、多岐にわたるケアを提供する役割を担っています。これらの経験を通じて、患者さん一人ひとりに寄り添った医療の重要性を深く理解し、その思いを今回の新しい役割にも活かしていきたいと考えております。

がんは、患者さん本人だけでなく、ご家族やご友人にも大きな影響を及ぼす病気です。そのため、がん相談支援センターの役割は、がん治療についての情報やここで受けられる支援事業を提供するだけでなく、患者さんとその周囲の方々の心理的、社会的な支援も含めた総合的なサポートを行うことです。岩手医科大学附属病院がん相談支援センターでもこれまで培ってきたコミュニケーション能力や共感力を活かしてきめ細やかな支援を行ってきましたが、産婦人科医としてセンター長の任を負うことで、AYA世代の患者さんたちも安心して治療に専念できる環境

づくりを目指していきます。

具体的には、次のような取り組みを進めてまいります。

1. ****包括的な情報提供と相談支援****：がんに関する最新の情報や治療法、各種サポートサービスについて、分かりやすくお伝えします。特に、治療選択に迷われる際には、多職種からなるスタッフがそれぞれの知識を活かしてさまざまな情報を提供し、患者さんが最適な治療法を選択できるよう、お手伝いをいたします。

2. ****心理的サポートの強化****：がん診断を受けた患者さんやそのご家族は、大きな不安やストレスを抱えることとなります。私たちのセンターには経験豊富な看護師とソーシャルワーカーが充実した心理カウンセリングを担当しており、心のケアにも力を入れています。

3. ****生活支援とアフターケア****：治療中や治療後の生活、利用できる医療サービス、生殖補助医療に関するアドバイスを提供し、患者様の生活の質を向上させる支援を行います。また、治療後のフォローアップや再発予防のためのケアも重視し、継続的な支援を行います。

4. ****地域連携の強化****：地域の医療機関や支援団体と連携し、患者さんが身近な場所で必要なサポートを受けられるようにネットワークを構築します。

これらの取り組みを通じて、岩手医科大学附属病院のがん相談支援センターが、患者さんとそのご家族にとって「心の拠り所」となる存在を目指してまいります。

最後に、私自身の産婦人科医としての経験を活かし、特に女性特有のがんに関する相談や支援にも力を入れていきたいと考えています。女性の身体は、ライフステージごとにさまざまな変化を迎え、その都度適切なケアが必要です。がん診断後こそ女性らしく、自分らしい生活を送るためのサポートをスタッフ一同、全力で知恵を絞ってまいります。

皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。そして、どんな些細なことでもお気軽にご相談いただければ幸いです。共に歩み、支え合いながら、がん治療とその後の人生を乗り越えていきましょう。

どうぞよろしくお願いいたします。

令和6年度 アピアランス支援モデル事業について



岩手医科大学附属病院は、厚生労働省の「令和6年度アピアランス支援モデル事業」施設に採択されました。

今後、岩手県内のがん治療における外見の変化に苦痛を抱えるがん患者さんやその家族の方が、質の高いアピアランスケアをいつでも、どこでも受けられる体制の構築を目指して、医療従事者を対象とした研修会の実施や、がん患者さんに対する相談支援、情報提供等に取り組んでまいります。



アピアランスケアコーナー

アピアランスケアコーナー

病院2階のがん患者・家族サロンに、アピアランスケアコーナーを作りました。

アピアランスケアに関するリーフレットやウィッグ・乳房補整具の見本、カタログなどもございますので、是非お気軽にご来場ください。



アピアランスケアのリーフレット

イベント
開催の
お知らせ

アピアランスケア相談会

がんやがん治療による外見変化への対処を通じ、自分らしく日常生活を送れるようサポートします

担 当	がん看護専門看護師 横田眞理子
日 時	毎月第3水曜日 午後1時30分から3時まで
場 所	病院2階 がん患者・家族サロン
参加費	無料





グループ演習

2024年度

岩手医科大学附属病院 緩和ケア研修会開催



緩和ケア研修会とは、がん等の診療に携わる全ての医療従事者が、基本的な緩和ケアについて正しく理解し、緩和ケアに関する知識や技術等を修得することを目的とした研修会です。

2024年6月29日（土）岩手医科大学附属病院において、緩和ケア研修会を開催し、当院の医師18名が参加致しました。

本研修会は、厚生労働省の示す指針に準拠したプログラムとして厚生労働省に認められた研修会です。当日は、当院緩和ケアセンターのスタッフが中心となり、講義の他、グループ演習や、ロールプレイング演習の他、がんを体験された方からの講演もあり、知識や技術の習得だけでなく、緩和ケアを受ける患者さんの目線や気持ちの理解にも繋がる研修会となりました。



ロールプレイング演習



e-learningの復習



グループ発表

みちのく潮風トレイルウォークin宮古にて、 がんセンターPR活動を行いました。



がんセンター PR活動の様子

令和6年6月9日(日)、宮古市で開催された「みちのく潮風トレイルウォークin宮古」(主催：環境省、みちのく潮風トレイルウォーク実行委員会)において、がんセンターのPR活動が行われました。

当日は、がんセンターのリーフレットや、がん患者・家族サロンで配布しているタオル帽子等の展示スペースが設けられ、本学教職員4名がイベント参加者や関係者などの来場者約600名に、がんセンターの活動内容などについてPRを行いました。

岩手医科大学附属病院は、岩手県唯一の都道府県がん診療連携拠点病院に指定されており、岩手県民に対し、がんに関する正しい知識の情報提供を担う立場にあります。がんセンターでは、今後も県内に広く啓蒙活動を進めたいと考えております。



会場の様子



いわて応援ポケモンのイシツブテ・ピカチュウ・アローライシツブテと
完歩記念の写真撮影をする子供たち
写真：来場者提供



本センターだよりをはじめ、関連資料を配布

がん患者さんのための 外見ケアセミナー



7月26日(金)にがん治療中の患者さんを対象とした、外見ケアセミナーをがん患者・家族サロンにて開催いたしました。セミナーでは、専門店の美容部員(ソーシャルエリアパートナー)による、がん治療による外見の変化を目立たなくするメイクアップ法などについてのアドバイスや、体験会などを行っていただきました。



参加者からは、「自分にあったカバー方法やメイクアップ方法を教わり良かった」「いつも使っているメイク用品を活用できてうれしい」「同じ悩みを持つ仲間と交流ができた」「外に出かけるのが楽しみ」などの感想があり、とても好評でした。

今後も皆様に役立つイベントを開催していきたいと思えます。

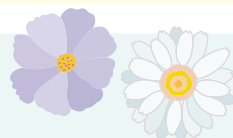


ウィッグ相談会



がん患者・家族サロンでは、がんの治療で脱毛した方向けに医療用ウィッグ相談会を行っております。当院での治療の有無にかかわらず、どなたでも参加可能です。各専門店のアドバイザーによる相談会ですので、ぜひご参加ください。

日時 毎月第4火曜日 午後1時30分から3時30分まで
参加費 無料



オストメイト相談会



コロナ禍のため休会となっておりました、オストメイト相談会を、この度7月より再開いたしました。人工肛門や人工膀胱など、日常生活でいろいろな悩みや不安をお持ちの患者さんやその家族の方はもちろん、どなたでも参加可能ですので、お気軽にご参加ください。

日時 毎月第4月曜日 午前10時から12時まで
参加費 無料



大森さん3年間ありがとうございました。

あいさつ

がん患者・家族サロンが開設されて15年、私は9代目の専従スタッフとして、患者さんの誰にも言えない気持ちや苦しみ、どうしようもない悲しみに寄り添いながら、少しでも気持ちが楽になり笑顔になって帰っていただく、それを目標にしてまいりました。

これからもサロンが患者さんにとって安らぎの場、弱音を吐ける場、そして生きる希望につながる場であって欲しいと願っています。

大森ハツエ



患者さんより、お礼のメッセージが届いております。

本当にありがとうございました。

入院してこのコットン帽子をいただきました。不思議ですね、かぶっていると温かい何かに守られているようです。大切にします、ありがとうございます。



ピンク色のやさしい帽子ふわりとても心地よく、私の頭を守ってくれています。とても丁寧に作られています。本当にありがとうございます。

まけないゾウを見るたびに「頑張れ気力」が増してきます。家族のためにもまだまだ生きなければと思いました。ありがとうございます。

とても素敵な帽子をいただきました。桜の花びしりて一つ一つ丁寧に編み上げてあり、凄すぎます。手術を控え励みになります。ありがとうございます。

脱毛が始まり、困っていた時にタオル帽子を頂きました。タオル生地で気持ちがとても和らぎますし、明るい色で気分もリフレッシュになりました。ありがとうございます。



他にもたくさん届いております。

がん患者・家族サロンからのお礼



まけないゾウ



折り紙作品



飾りマグネット



絵葉書

ボランティアさんより、 寄贈品が届きました。

たくさんの寄贈品ありがとうございました。いただいた寄贈品は、患者さんへお渡しさせていただき、たくさん感謝の言葉をいただいております。皆様のご支援に感謝申し上げます。



タオル帽子



コットン帽子

ボランティアさんが活動しております。

がん患者・家族サロンでは、毎週水曜日の午前10時から12時まで、アイリスの会（乳がん患者会）の方がボランティアさんとして活動いただいております。

色々な方とお話することで、悩みを解決するヒントや、悩みや不安を抱えているのは自分だけではないことなど実感できると思います。ぜひお越しください。



院内のがん相談窓口

■がん相談支援センター

がん相談支援センターは、がん患者さんやご家族だけでなく、どなたからのご相談も、面談または電話により無料でお受けしております。

専門の相談員が対応しますので、心配なことがありましたら、どんなことでもご相談ください。(個人情報厳守いたします。)

お待たせすることもありますので、あらかじめお電話にて日時をお約束をすることをおすすめいたします。

医療費・経済的負担のこと

療養生活のこと

セカンドオピニオンのこと

病気のこと

仕事と治療のこと

家族のこと



☎019-611-8073 (直通)

平 日 (月～金) 9:00～16:00
第1・第4土曜日 9:00～12:00
岩手医科大学附属病院 1 階
患者サポートセンター内

■がん患者・家族サロン

がん患者・家族サロンは、がん患者さんおよびその家族に対する精神面を中心としたケアの充実を目的とした場所です。岩手医科大学附属病院での治療の有無に関わらずどなたでも無料で利用できます。

☎019-613-7111 (内線 3222)

平 日 (月～金) 10:00～16:00

岩手医科大学附属病院 東エレベーター 2 階 20 番



がんに関する冊子や書籍の他、治療に伴う脱毛対策としてのウィッグやタオル帽子・コットン帽子のことなど、様々な情報を提供しております。

がん患者・家族サロンホームページ

<https://www.hosp.iwate-med.ac.jp/hospital/gancenter/salon/index.html>

～ 一人で悩まずに、あなたの不安やつらさをお話してください。～



QRコードはこちら

編 集 後 記

がんセンターだより10号を最後までお読み頂き誠にありがとうございます。

がん患者・家族サロンの専従スタッフであった大森さんが、4月をもって退職致しました。5月より専従スタッフは不在となっておりますが、ボランティアによるイベント開催など、これまで以上に、充実した内容をお届けしたいと企画しております。また、がん相談支援センターには、専従のスタッフ(認定看護師)がおりますので、がん治療や副作用のこと、お金や仕事のこと、毎日の暮らしのこと、がんに関することでしたら何でもお気軽にご相談ください。